



つよく かしこく あたたかく ～光る汗!～

流山市おおたかの森西2丁目13番地の1 TEL 04-7159-7001

<https://schit.net/nagareyama/ootakasyou/>

立春を前に

校長 角 龍 幸

まもなく立春を迎えます。「最近明るくなったね。」夕方職員室から校庭を見ていて、そんな会話をしたのはつい昨日のことです。春が一日一日と近づいているようです。休み時間元気に遊ぶ子供たち！日差しの柔らかな日は半袖の子も増えています。

3学期がスタートし、インフルエンザ等による欠席が落ち着いたかと思っていましたが、先週あたりから欠席者が目立ってきました。この2週間で5学級がインフルエンザ等による欠席者の増加で学級閉鎖の実施ということになりました。学校でも教室の換気、手洗い、うがいの励行に努めていますが、お子さんが体調が優れない場合は、早めに医師の診断を仰いだり休養したりとよろしく願いいたします。

1月31日に流山市小中学校の児童生徒代表として、6校の小中学校の代表が流山市長に姉妹都市能登市への義援金を届けました。本校からは福祉委員会の委員長が代表で参加しました。今回の募金活動は、能登半島地震で被災された方々の苦労されている様子を日々のニュースを見て、子供たちから「募金活動をして、困っている人たちを少しでも助けたい。」という声が上がリスタートしたものです。中には、夏に能登町の子供たちと姉妹都市交流を行った児童もおり、「能登町を助けたい」と切実な思いを訴える児童もいたということです。先週、福祉委員会、児童会役員が中学生と共に正門の前に立ち、募金を呼びかけ、多くの義援金が集まりました。福祉委員長の6年生児童もおおたかの森小学校の代表として、学校での募金活動の様子や被災された方々への思いを市長にしっかりと伝えてくれました。

義援金は伊崎市長が、子供たちの思いを伝えるとともに直接能登町に届けてくださるとのことです。子供たちの声から動き出した今回の活動に、おおたかの森小児童の心の温かさと成長を強く感じています。



席書会



年明けに恒例の席書会を各学年毎に行いました。3年生以上は毛筆、低学年はフェルトペンを使っての書き初めです。みんな真剣な面持ちで筆・ペンを持ち、集中して一文字一文字書いていました。1月ならではの光景です。

自分も最近パソコンでの文書作成が多く、文字を書く機会が減っています。温かみを感じるなど、手書きならではのよさがあります。字形を整えて丁寧に文字を書くように、日頃から意識することが大

切です。こういった学習にしっかりと取り組むことで、「丁寧に書く」ことの意識育てていきたいです。